



① まずは〈在宅避難〉をご検討ください



「在宅避難」とは、災害時に自宅の安全が確保できれば在宅で避難生活を送ることです。大雨・台風や地震など様々な災害を想定して、在宅避難を検討してください。

- 1 防災マップ等で浸水想定や土砂災害の危険等を確認
- 2 自宅の安全を確保（家の耐震補強や家具転倒防止等）
- 3 食料や水、トイレパック、常備薬等を備蓄

※自宅にいることが危険だと感じた場合は早めの避難が原則です

② 複数の避難先をご検討ください

〈親族・知人宅への避難〉

近隣の親族や知人宅に避難することができるか事前に相談しておきましょう。食料品や生活用品が不足しないよう各家族の備蓄品を持ち寄りましょう。

〈ホテル等での宿泊〉

大雨や台風などの場合は、安全なエリアの宿泊施設にあらかじめ滞在しておくことも有効です。候補を探しておきましょう。※移動を開始する前に営業状況や空き室の有無を確認してください

〈地域が開設する避難場所〉

〈行政が開設する避難場所〉

- ・食料や水、基本的な生活用品に加えて、「マスク」や「体温計」を持参してください。
- ・避難中はマスクを着用し、手洗い・うがい・咳エチケットなど基本的な感染症対策を徹底してお互いに助け合い思いやりをもって過ごしましょう。